

■全統模試を受けよう

前回の進路通信でもお知らせした全統模試(河合塾主催)の申込みが始まっています。とくに3年次の全統模試は浪人生も受験するため、現時点での立ち位置(順位)が分かるといわれています。また、大学などの会場(※予備校会場となる場合もあります)を借りて行われるため、実際の入試と同じような緊張感を体験できるのも、全統模試の魅力です。欠席しても後日受験ができない、料金が普段の進研模試より割高というデメリットもありますが、ぜひ受験してください。

第2回共通テスト模試 第2回全統記述模試



Teamsにも申込用のURLをアップロードしていますが、右記のQRコードからも申し込むことができますので、興味のある人、受験したい人は早めに申込みをしてください。(※なお、大学などの会場の席には限りがあります。申込期限内であったとしても、受験会場の席が埋まって申込ができなくなる可能性がありますので、なるべく早めに申込みをするようにしてください)

■模試は復習してこそ、意味がある。

5月23日、24日の大学入学共通テスト模試お疲れ様でした。中には部活動の公式戦があったり、また大会などが近かったりして、体力的にも精神的にも大変だった人もいると思います。ただここでの頑張り、必ず入試本番であと一息頑張らないといけな
いときに役立つと思いますので、自信をもって頑張ってください。ただし、模試で大切なのは「終わった後の復習」です。点数が〇〇点だったと一喜一憂するのではなく、どの単元・範囲で点が取れているのか、どの単元・範囲で取れていなかったのかをしっかりと反省することが自分の力を伸ばす一番の近道です。例えば、「歴史総合、日本史探究」で、日本史分野はしっかり勉強して点が取れていても、歴史総合分野(世界史分野)は点が取れていなかったら、歴史総合分野の復習をする必要がありますね。数学でも確率は事前にしっかりと勉強したから点が取れると思っていても、条件付き確率の問題は点がとれなかったとしたら、条件付き確率の復習をしっかりとやる必要がありますよね。ですので、教科科目単位で「〇〇が出来ていた」「××が出来ていなかった」と喜んだり、反省したりするのではなく、どの単元・範囲ができていて、どこの単元・範囲ができていないかを分析して、復習していくように心がけましょう。



次の模試は、7月9日～11日です。それまでにコツコツとできる範囲を増やしていきましょう。